



Safer Internet Association

こども家庭庁 令和7年度 青少年の被害・非行防止対策リモート講演会・座談会
子どもの安全・安心なインターネット利用
～賢く・便利に・安全にインターネットを使うために必要なこと～

なぜ子どものネット利用がうまくいかないのか？ 支援者が知るべき三つのズレ

高橋大洋

(一般社団法人セーフインターネット協会 ネットセーフティ教育プログラム事務局)

講師自己紹介

高橋大洋



フィルタリングやセキュリティなどIT企業勤務をきっかけに、2008年より「ネットとのつきあいかたをオトナにも分かりやすく」に取り組み始める。

現在は、「スマートなインターネット利用者を増やしたい」をキーワードとして、インターネット利用に伴うさまざまな問題についての調査・研究や教材・カリキュラムの開発、指導者の養成、企業・NPO等への専門助言を行う。研修講師としても活動。

一般社団法人セーフアーインターネット協会(SIA)ネットセーフティ教育プログラム事務局のほか、ポールトゥウィン株式会社 インターネット利用者行動研究室 室長(契約パートナー)、小樽商科大学・帯広畜産大学・北見工業大学 非常勤講師(地域とインターネットメディアのリテラシー)を務める。

著書(共著)『学生のためのSNS活用の技術』(講談社)。眠育シニアアドバイザー。JFCファクトチェックトレーナー。

北海道札幌市在住、子どもは18歳女子・15歳男子。

支援者が知るべき三つのズレとは

- 世代のズレ(メディア経験・意識)
 - 保護者は受信型・モノ消費、子どもたちは発信参加型・つながりの基盤
- 対象像のズレ
 - 理想の保護者像と現実の家庭環境
- 意図と方法のズレ
 - 保護者の“守りたい”気持ち・推奨される行動と、子どもが求める支援

世代のズレ

• 保護者

- テレビや共用のゲーム機、文字のインターネットとともに成長
- 受信型(プロの作ったものを娯楽として楽しむ)、モノ消費の利便性に魅力

• 子ども

- スマホや専用ゲーム機、画像・動画のインターネットが当たり前
- 発信参加型、つながりや自己表現の基盤として必要

“ギャップを埋める想像力”習得の手引きが必要

対象像のズレ

- 各種啓発が前提とする理想の保護者像

- 高い学習意欲、学習や取り組みの時間を十分に確保できる
- 親子の関係・子どもの毎日の生活バランス(睡眠・遊び)は、ともに良好

- 現実

- 学習(参加)の余裕がない、具体取り組みへの時間的・精神的な余力も不足
- 多様な困難や複雑性を抱えた親子関係、余裕の無い毎日を送る子ども

支援する側の届け方・内容(ネット以前の問題解決)にこそ工夫が必要

意図と方法のズレ

• 保護者の意図

- 子どもをネットトラブルから守りたい・ネットを上手に使えるように育てたい

• 推奨されるアクションとよくある光景

- パレンタルコントロール(フィルタリング・時間制限など)の利用
→子どもが抜け道を見つけて機能しない・ケンカになって介入を断念
- ゲーム機やネット利用のルールづくり→根拠・納得感が薄く、守られない

「分からずに邪魔する存在」= 質問や援助を求める先になり得ない

本当に必要なこと

• “困った”利用の本当の構図を見抜く力

適切な捉え

- 動画・ゲームの長時間利用や、他者とのつながりを求めた不適切なSNS発信
 - 他の魅力的な遊びが選択肢に無い
 - 家庭・学校などで良さを認めてもらえる場面が無い
 - 保護者や学校からの“圧”を和らげる手段にしている

• 環境の整備と、日常的な支援

上手な関わり

- 子どもを意思決定の主体に、多様な遊びや生活の余白、認められる場面
- 生活リズムの整え、利用内容の受け止め、段階的な利用の見通し

• 悪用を抑え自由なインターネット環境を護る

民間企業による自主的な取り組み(正会員4社、賛助会員20社、協力企業1社) ※2025年5月時点

• ホットライン

- 誹謗中傷投稿が掲載されているサイトに利用規約等に沿った削除等の対応を促す(誹謗中傷ホットライン)
- 違法・有害情報の通報を受け付け、国内外のプロバイダに削除措置などを要請(セーフライン)

• E-Commerceの安心安全な環境構築のための取り組み

• 偽・誤情報対策(日本ファクトチェックセンター)

• 教育啓発(ネットセーフティ教育プログラム)

• 意欲を持つ大人に確かな学びの場を提供

フェイクニュースへの対応から、デバイス・サービスの安全利用、ネット利用と心身の健康、詐欺被害や消費者トラブル予防に至る、幅広い範囲について学び続ける機会を提供しています。オンラインコース(有償、学習期間30日間)は年4回開講、アドバイザー・インストラクターはスキルアップ研修会(年10回)に参加いただけます。

• ネットセーフティ・ベーシック

オンラインコース(養成講座)

- 自分のために、ネットセーフティの基本的な知識の習得や確認に取り組みたい方向け

• ネットセーフティ・アドバイザー

オンラインコース(養成講座)

認定後最長2年間有効

- 周囲を支えるために、ネットセーフティの知識の習得や活用により深く取り組みたい方向け

• ネットセーフティ・インストラクター

書面・動画で審査・認定

認定後最長3年間有効

- 講師としてご活躍中の方の知識、姿勢とご経験を審査、認定

